

1. 概況

当月の通信機器[国内]の受注・出荷は777億円(前年同月比11.7%減)と4か月連続で減少。
 有線端末機器は、電話機(同比9.0%減)が同比を下回ったが、VoIP-GW(同比47.8%増)、事業所用コードレスホン(同比20.6%増)、インターホンとその他合計(同比12.0%増)、ファクシミリ(同比1.6%増)が同比を上回ったため、全体では313億円(同比5.8%増)と増加した。
 移動体端末機器は、携帯電話の低価格帯端末が一部メーカーによる新発売に伴い出荷は増加したが、高価格帯端末の大幅減により、全体では175億円(同比20.4%減)と減少した。
 有線ネットワーク関連機器は、構内用電子交換機(同比10.3%増)、主に民需向け需要が好調だったボタン電話装置(同比22.4%増)などが同比を上回ったが、官公庁向け需要が大幅減となったデジタル伝送装置(同比39.7%減)、その他の伝送装置(同比15.1%増)が同比を大幅に下回ったため、全体では155億円(同比21.5%減)と減少した。
 無線ネットワーク関連機器は、電気通信事業者の投資が回復した基地局通信装置(同比117.7%増)が同比を大幅に上回ったが、固定通信装置(同比59.9%減)が地上系・衛星系ともに7月好調の反動減が継続し同比を下回り、全体では92億円(同比26.5%減)と減少した。
 その他ネットワーク関連機器は、LANスイッチ・ハブ(同比24.4%減)が同比を下回ったが、電気通信事業者向け需要が大幅に増加したルータ(同比39.9%増)などが同比を上回ったため、全体では41億円(同比2.7%増)と増加した。
 通信機器用部品は、1億円(同比38.9%減)と減少した。

2. 受注・出荷実績

(金額単位:百万円)

機種別	月・期別	9月	前年同月 比増減率(%)	4月～9月 累計	前年同期 比増減率(%)	1月～9月 累計	前年同期 比増減率(%)
通信機器		77,666	-11.7	383,914	-4.7	613,194	-8.9
端末機器		48,758	-5.4	214,337	-7.4	340,924	-3.0
有線端末機器		31,259	5.8	129,217	1.0	206,158	1.6
移動体端末機器		17,499	-20.4	85,120	-17.7	134,766	-9.3
ネットワーク関連機器		28,817	-20.5	168,733	-1.0	270,895	-14.8
有線ネットワーク関連機器		15,519	-21.5	71,467	-28.9	114,248	-34.5
無線ネットワーク関連機器		9,158	-26.5	74,246	50.6	118,904	6.7
その他ネットワーク関連機器 (ルーター・LANスイッチ等)		4,140	2.7	23,020	11.1	37,743	17.7
通信機器用部品		91	-38.9	844	4.3	1,375	-60.7

(注) 1. CIAJ自主統計に基づく

2. 移動体端末には市民用トランシーバー、アマチュア用通信装置を含まず

3. ボタン電話装置は、端末機器に含めず、ネットワーク関連機器に含めた(2018年4月から)

3. 受注・出荷推移

